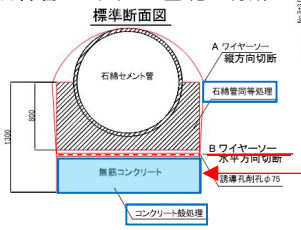
＜工事＞

受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
青葉工業(株)	香川用水二期農業水利事業 高瀬支線用水路第４工区七尾サイホン他改修工事 （香川県三豊市豊中町笠田笠岡地内）	本工事は、高瀬支線用水路のサイホン改修工事であり、山林及び管理用道路下に埋設された石綿管を、ダクタイル鋳鉄管に布設替えする工事である。 1　①既設石綿管の撤去に当たって、当初予定していなかったコンクリート半巻基礎が出現したことにより、受注者側の提案によりワイヤーソー切断による処理を行うことによって、取壊し時の粉塵の軽減や基礎コンクリートの厚い個所については下部を水平方向に切断しコンクリート殻処分扱いとすることで、石綿管の処分量（29t）の軽減を行った。 2　②起点側 40m区間において、情報化施工技術による起工測量及び施工（床掘）を行い、既設石綿管撤去時の損傷を抑える品質向上の確保に努めた。 3　③デザイン工事看板の設置、周辺環境整備のために近隣神社の駐車場整備、朝の滑り事故を無くすために高速道路上を横断する橋梁路面部の凍結防止等を行い、地域住民への工事の理解と協力を図った。 以上のとおり、適切に現場条件を把握し、コスト縮減及び品質確保に努め、所定の工期内に安全に工事を実施したことは、高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営かんがい排水事業「香川用水二期地区」において、老朽化した高瀬支線用水路の整備を行い、農業用水を安定的に供給するための工事である。 （主要工事） 施工延長　L＝447m （1）サイホン改修工 1）布設替　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　φ1,200 ㎜　L＝432m 鋼管　φ1,200 ㎜　L＝ 17m （2）空気弁工　1 個所 （3）排泥工　　1 個所 （4）復旧工　　1式 （工　期） 令和 2 年 5 月 21 日～令和 3 年 3 月 21 日		

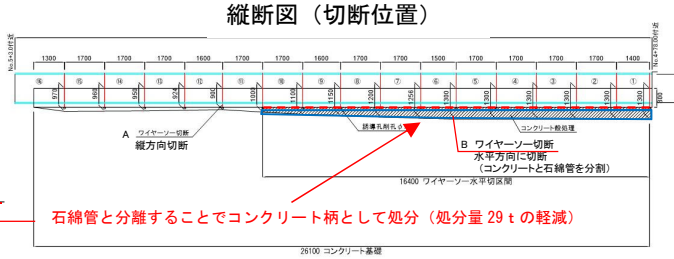
【施工状況等】

①石綿管の処分

石綿管コンクリート基礎工切断
標準断面図



縦断図（切断位置）



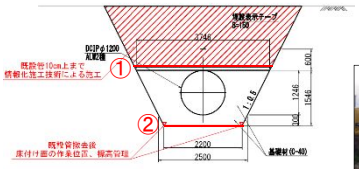
水平方向切断状況
（ワイヤーソー）

撤去状況（切断後）

②情報化施工技術の活用

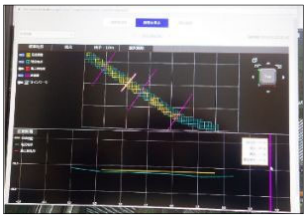
地上波レーザースキャナ（TLS）
による起工測量

MC 技術の活用
①撤去前（既設管上 10cm）
②撤去後（床付け位置）



MG による床掘施

WEB 上で床掘の進捗確認



③地域住民への対応

看板設置状況

神社の駐車場整備（整地等）

路面凍結防止剤の常備

＜工事＞

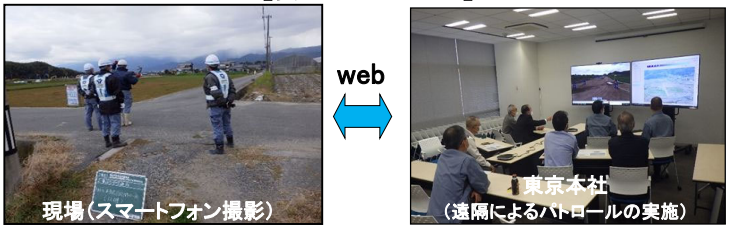
受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
あおみ建設 （株） 四国支店	道前平野農地整備事業 安用団地区画整理（その２） 工事（その２） （愛媛県西条市安用地内）	１　受注者は、本工事において、作業効率の向上のために、マシンコントロール（ＭＣ）によるＩＣＴ建設機械を使用し、作業の効率化を図るとともに、適切な工程管理により４週８休（28.5%）以上の 28.6%の休日を確保した。 ２　現地での安全パトロールに換え、Web 会議システムやスマートフォン等の通信技術を活用した社内安全パトロールを行うなど、業務効率化の積極的な取り組みを図った。 ３　工事区域周辺の道路補修の他、地区集会場やゴミステーション等へ工事案内を掲示するなど、地域住民とのコミニュケーションを積極的に行い、工事の円滑な推進に努めた。 ４　新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策等に適切な対応を図った。 ５　また、工事案内看板に県産の間伐材を使用するなど創意工夫に努めた。 以上のとおり、情報化施工の取り組みや働き方改革に努めるとともに、地域住民とのコミュニケーションに配慮しながら工事を実施したことは、高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営道前平野農地整備事業計画に基づき、安用団地における区画整理工事を行うものである。 （主要工事） 整地工　Ａ＝ 2.57 ha 用水路工（管水路工）　Ｌ＝ 204 ｍ 排水路工　Ｌ＝ 413 ｍ 道路工　Ｌ＝ 361 ｍ （工　　期） 令和２年７月９日～令和３年３月２０日		

【施工状況等】

【ほ場整備（施工状況）】

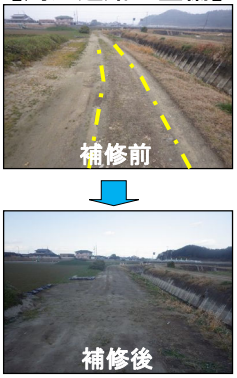
【周辺住民への工事のお知らせ掲示】

【安全パトロール】



【ICT 施工（整地作業）】

【周辺道路の整備】



【コロナ対策の徹底】

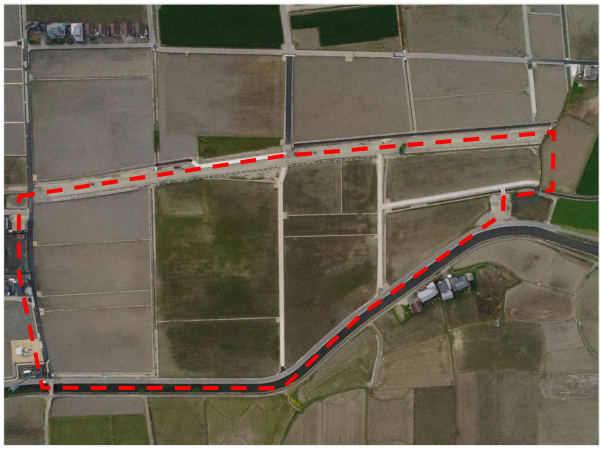
【熱中症対策の徹底】

＜工事＞

受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
いづも（株）	道前平野農地整備事業 北条団地区画整理（その７）工事 （愛媛県西条市北条 地内）	１　受注者は、本工事において、作業効率の向上のために、①ＴＬＳを用いた出来形管理技術、②マシンガイダンス（ＭＧ）及びマシンコントロール（ＭＣ）によるＩＣＴ建設機械（バックホウ、ブルドーザ）を使用し、基盤切盛・整地、畦畔築立、表土整地の施工を行い、測量作業の時間短縮・丁張の簡略化等に努めた。 ２　「情報化施工技術講習会（土技所主催）」の現地講習において、ＩＣＴ建設機械の操作説明等を行い、ＩＣＴ施工の技術や知識の普及に協力した。 ３　工事区域周辺の除草作業や工事完了後に周辺水路の清掃を行うなど地域住民とのコミュニケーションに努めた。 以上のとおり、情報化施工の取り組みと普及に努めるとともに、地域住民とのコミュニケーションに配慮しながら工事を実施したことは、高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営道前平野農地整備事業計画に基づき、北条団地における区画整理工事を行うものである。 （主要工事） 整地工　Ａ＝　6.07ha 用水路工（管水路工）　Ｌ＝ 757　ｍ 排水路工　Ｌ＝ 422　ｍ 道路工　Ｌ＝ 462　ｍ （工　　期） 令和２年７月２２日～令和３年３月２８日		

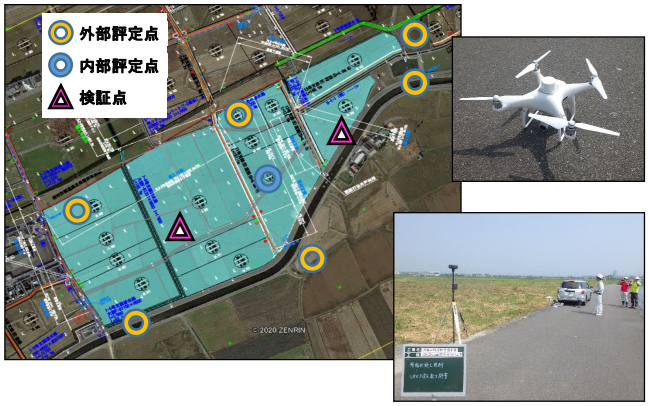
【施工状況等】

ほ場整備（工事完成）



３次元測量

基準点・水準点確認後、ドローンによる３次元測量・データ作成（ＩＣＴ施工）を行った。

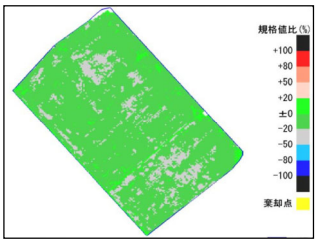


情報化施工技術講習会（土技所主催）

ICT施工（基盤切盛・整地、畦畔築立、表土整地）

工事区域周辺の除草・水路清掃作業

TLSを用いた出来形管理

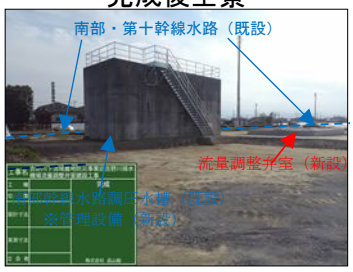


＜工事＞

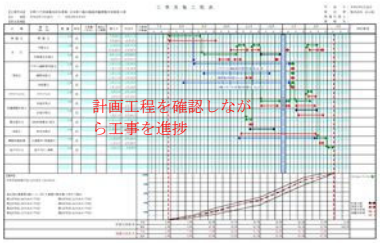
受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
（株）品山組	吉野川下流域農地防災事業 旧吉野川揚水機場流量調整弁室建設工事 （徳島県板野郡板野町西中富地内）	旧吉野川揚水機場流量調整弁室は、南部幹線水路と第十幹線水路に需要ピーク時に用水補給するための施設であるが、南部幹線水路は既に供用を開始しており、難しい工程計画のもと受注者が以下の取組みを実施。 【工程管理】 ①南部幹線の通水停止にあわせた工程計画を樹立し、綿密な工程管理により現場施工に遅延のないよう工事を進捗。 ②農家からの用水需要に対応するため、散水車により、農作物へのかんがい給水を対応。 ③ライフワークバランスへの取組みを推進し、週休２日（４週８休）以上を達成。 【現場施工】 ④掘削法面が降雨等により崩壊が発生しないようブルーシートで養生し、作業の安全性を確保。 ⑤コンクリートの乾燥ひび割防止のためのアクアマットの敷設、凍害防止のためのジェットヒーターによる温度管理など、品質管理を確保。 【環境整備】 ⑥地域貢献、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策等に積極的に対応。 以上のとおり現場条件に的確に対応し、品質・安全確保に努め工事を実施したことは高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営総合農地防災事業「吉野川下流域地区」において、受益農地に吉野川の清浄な水を届けるため、旧吉野川揚水機場流量調整弁室を建設する工事である。 （主要工事） 流量調整弁室工　　１式 調圧水槽管理設備工　　１式 （工　　期） 令和２年７月28日　～　令和３年３月９日		

【施工状況等】

完成後全景



綿密な工程管理



散水車による給水状況

法面養生（ブルーシート）

コンクリート養生状況

ジェットヒーター養生

地域貢献（美化活動への参加）

新型コロナウイルス感染症対策

熱中症対策

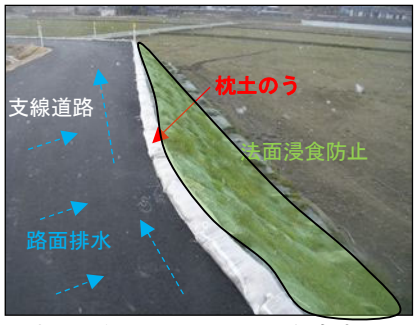
＜工事＞

受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
光山興業（株）	南周防農地整備事業 大原団地区画整理（その２－３）工事 （山口県柳井市日積地内）	１．中山間地域に５箇所点在する整備対象農地において、現地状況に応じた小規模建設機械によるきめ細やかな施工に努め、ほ場の均平精度向上等、適切な品質管理に努めた。 ２．農地周辺の山林等からの湧水対策のための暗渠排水について、畦畔に設置する暗渠水閘が、草刈機械等と接触して、水閘が破損する可能性があるため、対策として保護管を設置する提案がなされ、水閘の保護が図られた。 ３．特殊土壌地帯（真砂土）における施工であることから、降雨による法面侵食が予想されるため、路面排水からの法面侵食を防止するため、支線道路の路肩に枕土のうを設置する提案がなされ、法面の浸食防止が図られた。 ４．また、現場に隣接する通作道の路面整備を行うなど、細やかな周辺環境への配慮やコミュニケーションの確保に努めた。 以上のとおり、工事の品質確保、現場特性に応じた積極的な提案等、また、地域住民とコミュニケーションを図りながら、的確に工事を実施したことは、高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営南周防農地整備事業計画に基づき、大原団地における区画整理工事を行うものである。 （主要工事） （１）整地工　Ａ＝ 4.15ha （２）水路工　Ｌ＝1,006m （３）支線道路工　Ｌ＝ 531m （４）暗渠排水工　Ａ＝ 0.15ha （工　期） 令和２年４月 14 日～令和３年３月 24 日		

【施工状況等】

工事着手前（Ｃ－１ブロック）UAV による撮影

工事完成（Ｃ－１ブロック）UAV による撮影



枕土のうの設置による法面侵食防止

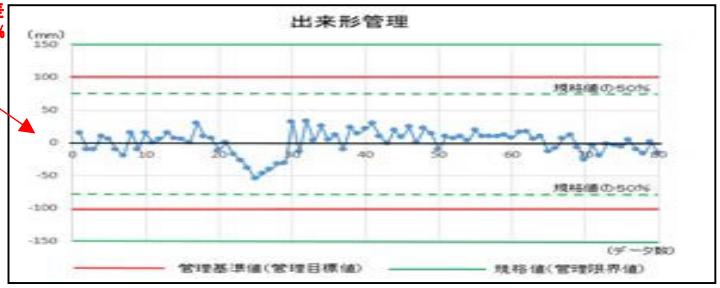
水閘への保護管の設置

通作道の路面整備

小型 BD による基盤均平状況

ほ場均平度測定状況

設計値と測定値の差（青線）が規格値 50%以内、バラツキが少なく適切に品質管理



ほ場均平度の施工管理図

＜工事＞

受注者名	工事名 （施工場所）	表彰理由
（株）八千代組	那賀川（一期）農地防災事業　久留米田樋門接続水路工事 （徳島県阿南市上大野町久留米田地内）	1　本工事の施工箇所は一級河川那賀川に近接しており、地下水位が高く、終始湧水がある状態であったことから、薬液注入工の施工及び排水ポンプの配置場所に関し、受注者から的確な提案がなされ、効率的な排水対策を実施することで、遅延無く工事を完成させた。 2　また、本工事で打設する水路は水路高が最大 5.9m、壁厚は最大 1.2m と規模が大きく、冬季には低温・乾燥となる現地条件だったことから、受注者からの提案によりコンクリート打設初期の乾燥収縮によるひび割れを防止するため被膜型コンクリート表面養生材（バーティキュア）を散布するとともに、コンクリート打設高さ（1.5m 以下）を徹底し、4本のバイブレータを駆使し入念に締め固めすることで、細部に渡ってクラックを発生させることなく、コンクリート構造物の出来ばえが非常に良い仕上がりとなった。 3　更に、現場進入路は集落からの一般車両も通行することから、週間工事工程の配布や掲示を行うなど工事状況の周知に努めるとともに、現場周辺の除草作業を実施することで車両通行時の視界の確保を図るなど、工事のイメージ向上を図った。 　以上のとおり、工事の品質向上に努めるとともに地域住民への配慮により、円滑に工事を実施したことは高く評価できる。
概　要		
本工事は、国営那賀川土地改良事業計画に基づき、南岸堰取水施設を改修するものである。 （主要工事） （1）下流接続水路　L=69m 1）暗渠　L=12m（幅 3.00m×高 3.10m×2連） 2）開水路　L=31m （幅 3.00m×高 5.90m×2連） 3）水位流量調整工 L= 7m （幅 3.00m×高 3.10m×2連） 4）放流工　L= 6m（幅 6.65m×高 4.10m） 5）市道横断部　L=13m（幅 6.65m×高 4.10m） （2）附帯工　1式 （工　期） 令和元年8月 10 日～令和3年3月 30 日		

【施工状況等】

＜着手前＞

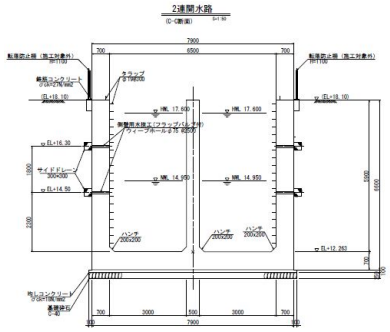
＜薬液注入工＞

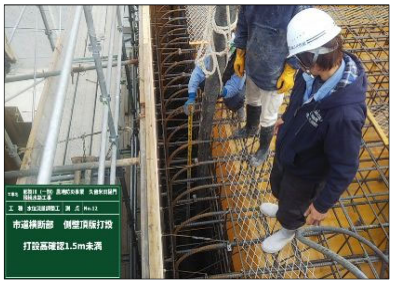
＜週間工事工程表の掲示＞

＜完成＞

＜コンクリート表面養生材の散布＞

＜除草作業＞



＜コンクリート打設状況＞

＜コンクリート打設高の確認＞